

令和7年度 第1回富里市行政改革推進審議会
会 議 録

〔日時〕 令和7年9月1日（月）

15：40～16：40

〔場所〕 富里市役所分庁舎2階大会議室

○出席者（順不同）

（委員） 寒郡茂樹会長、町田弘副会長、本橋幸子委員、
石川賢治委員、沖田健二委員

（事務局） 竹本企画財政部長、山崎経営戦略課長、須永課長補佐、
粕谷主査、小澤主査

（傍聴者） なし

○次第

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介

5 会長・副会長選出

6 議題

(1) 行政改革推進体制について

(2) 第3次行政改革大綱令和6年度改革プラン実績及び総括について

(3) 令和7年度行政改革審議会スケジュール案について

7 その他

8 閉会

○配布資料

・会議次第

・資料1 「行政改革推進体制」

・資料2 「富里市第3次行政改革大綱令和6年度行政改革プラン実績」

・資料3－1 「富里市第3次行政改革大綱」

・資料3－2 「富里市第3次行政改革大綱改革プラン」

・資料4 「富里市行政改革推進審議会スケジュール(案)」

・参考資料 「第1次政策実行計画」

会議録

1. 開会

2. 委嘱状交付

五十嵐市長から委員へ委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 委員紹介

5. 会長・副会長選出

互選により会長を寒郡茂樹委員に、副会長を町田弘委員に決定。

6. 議題

(1) 行政改革推進体制について

【会長】

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

- ・この件については、よろしいか。

(2) 富里市第3次行政改革大綱令和6年度改革プラン実績及び総括について

【会長】

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】

- ・それでは、実績を踏まえて委員の皆様から意見を伺いたい。

【委員】

- ・ 公共施設の管理経費の節減について、物価高が著しい中、各施設は努力していると感じている。維持管理・経費節減に努めるのは評価できるが、やりすぎると市民の不平・不満につながる恐れがあるので、その点については、注意していただきたい。
- ・ 市内の公共施設は、かなり老朽化が進んでいる。また、高齢化が進む中、各世代によって求めるニーズが多様化している。その上で、近年発生している災害時にも対応できる力を備えた、複合型・総合型施設を検討して欲しい。
- ・ 消防の広域化については膠着している。議論して行って欲しい。

【委員】

- ・ 公共施設の老朽化が進んでいる。災害はいつやってくるかわからないので、その準備はして欲しい。

【委員】

- ・ 財政基盤の強化が基本中の基本であり、税収の確保については、市税、国民健康保険税、保育料等の徴収率が対前年で若干なりとも上がっているため、職員の努力の結果だと思ふ。更なる創意工夫をして、滞納額の縮減も含め、税収の確保が更に必要だと思ふ。また、人口の大きな伸びが見込めない中で、更なる企業誘致の推進も財源確保の一助となるので、引き続きお願いしたい。

【委員】

- ・ 財政基盤の強化で、給食費の徴収について、児童手当からの徴収を実施するとあるが、これは滞納整理として行っているのか、児童手当から天引きする特別徴収として給食費を徴収しているのか伺いたい。
- ・ 県の動向を見極めながら消防広域化に向けた検証・検討を行ったとなっているが、その内容がわからないので、現在の状況を説明していただきたい。
- ・ 人口1万人当たりの職員数が、類似団体平均と比較すると、富里市は非常に少ない職員で頑張っていると見受けられるが、その内容が効率よく頑張っているということなのか、職員の負担が多くなっているということなのか、捉え方によって対応が大きく変わる問題である。職員数は、任期を定めない職員の数であるから、不足分は任期付職員で補っている

と考えるが、構成割合等も適切なのか、そういったことはどう考えているのか。私の感覚だと、定年前に退職する職員が非常に多いと感じる。職員の質が、行政の効率や行政の姿勢に影響するので、そのあたりはどう考えているのか。

- ・ 昨年 of 審議会 で述べた意見について、確認させていただきたい。
パブリックコメントについては、実施することが目的になってしまい、市民からの意見の吸い上げ方を検討した方が良いという意見を述べたが、その後どうなっているか。
住民税の申告でも、マイナンバーカードを活用できないか提案したが、検討されたのかどうか。

【委員】

- ・ 外国人材に関しては、産業政策的には労働者不足のため必要。特に成田空港の機能強化で人材が足りないという現状もある。農業でも、外国人材がいなければ運営も成り立たないという話もある。その一方で、全く日本語が話せない子ども達が日本に来て、学校としてどの程度サポートできるかという議論もあった。行革でも、外国人に対するケア、全般的なことは考えていかなければいけないと思う。
- ・ 商工業者数が3年前と比べ、約250増えている。半分以上は、外国人の起業、そのことに対してサポート出来る人材の確保を考えている。市としても、専門的にやっていかざるを得ないのではないかと思う。

【事務局】

- ・ 公共施設の維持管理については、修繕はしているものの、修繕以上のグレードアップまでが出来ていないのが現状である。
- ・ 災害時にも対応できる複合型、総合型施設の整備という御要望かと思うが、市民の皆様のニーズも多様化しており、全ての方に喜んでいただくのは難しい状況。将来的な課題として捉えている。
- ・ 消防の広域化については、県が中心となり進めていた。本市は単独消防であることから、隣接している成田市消防本部、佐倉市八街市酒々井町消防組合との協議を進めていたが、議論が進まなかった。広域化推進期限が延長されたことから、スケールメリット等を再度検討していただくよう働きかけている。
- ・ 歳入改革の強化を予算編成で掲げている。都市計画ガイドラインの見直しによる企業の誘致が進んでいる。現在建設中の物流倉庫において

も、数年後には税収が見込める。引き続き、歳入改革の強化を継続していく。

- ・給食費については私債権であることから、支払督促を実施している。児童手当からの徴収については、強制徴収ではなく保護者からの申し出があった場合に行っている。
- ・類似団体と比べると本市の職員数は少ないが、採用人数も増えている。業務量も増えてきているので、現状を見極めながら、適正な人員管理を行っていききたい。
- ・パブリックコメントについては、実施する側としては、市民からの意見を意識して作っている。結果として意見がでないことはあるが、決して目的化しているわけではない。
- ・マイナンバーカードについては、マイナンバーカード発行課と、業務を紐づける課がそれぞれある。現状では、トータルでコーディネートする課がない。DXを進める上では非常に重要であると考えている。
- ・外国人の対応については、「秩序ある共生」を目指している。本市独自で「外国人安全対策会議」を立ち上げ、千葉県・成田警察署と連携しパトロール等を実施している。9月からはヤードを直接訪問し、ルールの周知徹底を行っていく。

【委員】

- ・パブリックコメントについては、コメントをもらえる努力をしているのか。コメントをもらえるような環境づくりが必要なのではないのか。更に検討をしていただきたい。
- ・確定申告はスマートフォンで簡単に出来るのに、住民税申告が出来ないのはどうしてか。医療費控除において、確定申告をする必要はありませんとなっても、住民税申告をすると、医療費控除をとれる場合があるので、税を扱っている部署で検討していただきたい。
- ・給食費の児童手当からの徴収は、滞納処分として行っているのか。滞納処分として行っているのであれば、今後も徴収率のアップにつなげていただきたい。
- ・消防の広域化についても、市としてどうしていけば広域化に進むのか検討していただき、検討結果を教えていただきたい。
- ・職員の負担が増えたがために職員が退職してしまう事態につながらないように、職員を最大限に活かせるように、定数管理について対応を検討していただきたい。

【事務局】

- ・パブリックコメント、マイナンバーカードの住民税の関係、消防広域化の経過、職員の定員適正化について承った。

(3) 令和7年度行政改革審議会スケジュール案について

【会長】

- ・事務局から説明を求める。

〈資料を基に事務局より説明〉

【会長】 スケジュール等については、よろしいか。

7. その他

特になし

8. 閉会

委員から提出された御意見

1. 令和6年度実績について

意見事項	意見内容
3 ページ	○最近、外国人の方が一軒家を複数の人数でシェアしているケースもあるが、住民とのトラブルが多く聞かれる。言葉の問題、住居の又貸し等の話があり、住民登録する際、よく説明して欲しい。
18 ページ	○市税等徴収率の向上については、さらなる努力をしていただきたいが、国民健康保険の目標及び徴収率が低いことについて、制度的な問題があるのか。
19 ページ	○給食費について、「児童手当からの徴収を実施する。」となっているが、これは滞納整理として強制徴収することなのか。それとも、児童手当から特別徴収として給食費を徴収するものなのか。 どちらにしても、子供のために使うべき児童手当だと思うので、しっかりと取り組んでいただきたい。
20 ページ	○成田空港の機能強化に関わる周辺地域の活性化については官民間わず多大な投資が行われ、その経済波及効果は22兆円とも試算されている。この機会を千載一遇のチャンスと捉え、官民一体となった企業誘致活動や特区に伴う規制緩和なども広く知らしめていただきたい。
23 ページ	○物価高が著しい中、各施設はよく頑張っていると感じる。維持管理、経費節減に努めるのは評価できるが、やりすぎると市民の不平、不満につながる恐れがあるので、その点については注意して欲しい。
28 ページ	○市内の公共施設（建物）はかなり老朽化が進んでいると感じる。また、少し高齢化が進む中、各世代によって求めるニーズが多様化している。 その上で近年発生している災害時にも対応できる力を備えた、複合型、総合型施設をぜひ検討して欲しい。
30～31 ページ	○ふるさと納税の寄附については、まだまだ伸びる要素があるのではないかと。 ○フィルムコミッションについても、数年前の実績には及んでいない数字もあるので、積極的なプロモーション活動を行っても良いと考える。

意見事項	意見内容
34ページ	<p>○経常収支比率の改善については、成田空港の機能強化の投資に伴う効果を最大限に受け入れられる観点から、道路などの基盤整備の考え方の方針を決定していただきたい。企業誘致等に伴う税収の増加が大いに見込めるこれからの10年になっていただきたい。</p>
40ページ	<p>○消防広域化に向けた検証・検討を行ったとなっているが、その内容及び今後に向けた取組はどのようになっているか。 ○消防の広域化については、過去の実績からもなかなか進んでいないと感じる。広域化推進期限が延長されたが、話し合いの場を設け、議論して欲しい。 ○消防の広域化については、さらなる議論を継続していただきたい。</p>
42ページ	<p>○人口1万人当たりの職員数において、普通会計及び一般行政で類似団体平均との比較をしているが、どちらも平均より職員数が大きく下回っている。このことは、効率が良いと考えているのか、職員の負担が多くなっていると考えているのかで、課題が大きく変わってくると考える。また、職員の負担増については、任期付き採用職員で補っていることと思うが、構造的にこのような形でよいと考えているのか。今後の適正な定員管理に努めるとなっているが、定数基準を定めるなどの考えはあるのでしょうか。</p>

2. 第3次行政改革大綱及び改革プランについての総括

<p>○財政力が非常に改善した5年間であったと感じる。基本的な取組の方向性は間違っていないと感じているので、さらなる努力を続けていただきたい。</p> <p>○成田空港の機能強化に伴う経済波及効果は22兆円とも言われているので、企業誘致、雇用の確保を促す政策を全般的に行っていただきたい。交通の利便性に対する政策や新たな住環境の整備などがこれにあたると思われるが、特に外国人材の受け入れは必然であることから、より丁寧な外国人受け入れ施策を展開する必要があると感じる。日本においても、一番の成長を見込める地域でもあるので、今までの5年間の反省を踏まえ、今後の飛躍を目指した政策を期待する。</p> <p>○カスタマーハラスメントに対応していただきたい。国や東京都では、対応している職員を守るため対策が進められているところである。人口減少の下、行政の担い手の確保がますます難しくなる中、職員が意欲を持って働ける勤務環境を整えて欲しい。</p>
